

■ 従来の緑字決算からの改定点

緑字決算はその時代のニーズや課題に合わせて対象とする項目を見直し、重要度も再検討することになっています。2011年度から2013年度までの活動を評価する緑字決算対象項目の選定と重み付けには下記の改定をいたしました。

- ① 緑字決算の項目を〈環境負荷削減項目〉と〈環境貢献推進項目〉に分けて評価することとしました。
- ② インターネット上の調査で、約1,000名の方に次期の緑字項目を〈環境負荷削減項目〉〈環境貢献推進項目〉別にそれぞれ順位づけをしていただき、その結果を係数化したものを今回の重み付けとしました。
- ③ 緑字ECO評価基準・計算方法をその年の目標値に対しての達成率を計算する方法から、基準値に対する目標達成度（達成度合いにより30点～-30点とする）をもとに計算する方法に変更しました。  
また、達成度は以下の基準により算出しています。

【食品系副産物等の有効利用】

99%以上～	: +30
98%以上～99%未満	: +20
97%以上～98%未満	: +10
96%以上～97%未満	: -10
95%以上～96%未満	: -20
95%未満	: -30

【エコ提案の推進】

目標値の10%以上の向上	: +30
目標値の5%以上～10%未満の向上	: +20
目標値以上～5%未満の向上	: +10
目標値の5%以上～目標値未満の低下	: -10
目標値の10%以上～5%未満の低下	: -20
目標値10%超の低下	: -30

【環境配慮型商品の販売促進】

目標値+4以上	: +30
目標値+2～+3	: +30
目標維持～目標値+1	: +10
目標値-1～-2	: -10
目標値-3～-4	: -20
目標値-5以下	: -30

【上記以外の目標】

目標値に対し、	
「基準値－目標値」を上回る削減（貢献目標の場合は、増加）	: +30
「基準値－目標値」の1/2以上～「基準値－目標値」未満の削減（貢献目標の場合は、増加）	: +20
目標値以上～「基準値－目標値」の1/2未満の削減（貢献目標の場合は、増加）	: +10
目標未達～「基準値－目標値」の1/2の増加（貢献目標の場合は、減少）	: -10
「基準値－目標値」の1/2以上～「基準値－目標値」未満の増加（貢献目標の場合は、減少）	: -20
「基準値－目標値」を上回る増加（貢献目標の場合は、減少）	: -30

- ④ CO2削減、廃棄物削減につながる、“食品系副産物等の有効利用率の高水準の維持”“事務所電気使用量の削減”“コピー用紙使用量の削減”“環境社会貢献活動の推進”“エコ提案の推進”“H22燃費基準+25%達成車の導入率”を追加しました。
- ⑤ “環境啓発冊子リサイクルロードの配布部数”“森林認証された用紙への仕様変更可能率”“環境ボランティアの推進”“環境配慮型商品の開発”“営業車の低排出ガス車導入率”については、これまでの活動により一定の成果が得られた為、今後も活動は続けますが、緑字の対象項目からは外しました。

■ 重み付け投票詳細

〈環境負荷削減項目〉

	生産部門の二酸化炭素排出量の削減	物流部門の二酸化炭素排出量の削減	生産部門の用水量の削減	工場の廃棄物排出量の削減	事務所電気使用量の削減	コピー用紙使用枚数の削減
--	------------------	------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

↓ 以下の計算式にて順位毎にウェイトを付与する

$$a = (1位 \times 6 + 2位 \times 5 + 3位 \times 4 + 4位 \times 3 + 5位 \times 2 + 6位 \times 1) \div \text{サンプル数}$$

a	4.836	3.904	3.190	4.176	2.894	1.999
---	-------	-------	-------	-------	-------	-------

↓ aを項目数6で割る

b	0.806	0.651	0.532	0.696	0.482	0.333	平均値 0.583
---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------------

↓ bをbの平均値で割ったものを重みづけ係数とします

重み付け係数C	1.382	1.115	0.911	1.193	0.827	0.571
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

〈環境貢献推進項目〉

	食品系副産物等の有効利用	環境社会貢献活動の推進	エコ提案の推進	環境配慮型商品の販売促進	営業車のエコカー導入の推進
--	--------------	-------------	---------	--------------	---------------

↓ 以下の計算式にて順位毎にウェイトを付与する

$$p = (1位 \times 5 + 2位 \times 4 + 3位 \times 3 + 4位 \times 2 + 5位 \times 1) \div \text{サンプル数}$$

p	3.759	2.517	3.176	2.966	2.582
---	-------	-------	-------	-------	-------

↓ pを項目数5で割る

q	0.752	0.503	0.635	0.593	0.516	平均値 0.600
---	-------	-------	-------	-------	-------	--------------

↓ 加重平均値を加重平均値全体の平均1.28で割ったものを重み付け係数とします

重み付け係数r	1.253	0.839	1.059	0.989	0.861
---------	-------	-------	-------	-------	-------

■ 投票の詳細結果

〈環境負荷削減項目の順位付け結果〉

重み付け値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	a	b	重み付けC
生産部門の二酸化炭素排出量の削減	473	276	145	101	64	28	4.836	0.806	1.382
物流部門の二酸化炭素排出量の削減	114	276	304	241	89	63	3.904	0.651	1.116
生産部門の用水量の削減	61	156	219	313	169	169	3.190	0.532	0.912
工場の廃棄物排出量の削減	274	223	244	169	120	57	4.176	0.696	1.193
事務所電気使用量の削減	112	94	118	175	419	169	2.894	0.482	0.827
コピー用紙使用枚数の削減	53	62	57	88	226	601	1.999	0.333	0.571
								bの平均 0.583	

〈環境貢献推進項目の順位付け結果〉

重み付け値	1位	2位	3位	4位	5位	p	q	重み付けr
食品系副産物等の有効利用	416	281	179	134	77	3.759	0.752	1.253
環境社会貢献活動の推進	122	152	220	265	328	2.517	0.503	0.839
エコ提案の推進	248	225	232	234	148	3.176	0.635	1.059
環境配慮型商品の販売促進	170	260	245	187	225	2.966	0.593	0.989
営業車のエコカー導入の推進	131	169	211	267	309	2.582	0.516	0.861
							qの平均 0.600	